

授業科目名	音楽の世界(200019)		
時間割名	音楽の世界(41204)		
時間割担当	山本美紀		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	木・1		

授業の目標・概要

音楽祭やコンサートだけでなく、ゲームや映画の音楽、音楽療法など、社会における様々な音楽のあり方を扱う。特に本講義では、「音楽」というジャンル観にとらわれず、漫画や古典芸能なども扱い、そこで扱われた個別の作品について音楽の場や担い手、様式、背景となった社会や文化など、様々な側面から理解を深めることを通して、それぞれの企画に反映された音楽の世界について考え、知識を得ることを目指す。

学習の到達目標

音楽をただ聞き流すだけでなく、それぞれの時代で音楽に込められた様々な意味や思いを受け止め、さらに自分の中で自分なりにその音楽を位置づける知識を獲得すると共に、音楽によって感動したことや、その良さを他者に説明したり伝えたりすることができるようになることを到達目標とする。

授業方法・形式

各回のテーマでとりあげた作品について講義を受け、映像・音源を鑑賞する。さらに、受講生がそれぞれ興味のあるものにおける音楽に関わる事象をとりあげ授業内で紹介・解説し、みんなで鑑賞後、ディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 世界の音楽：文化圏と音楽
- 第3回 西洋音楽の歴史概説1：宗教と音楽
- 第4回 西洋音楽の歴史概説2：音楽祭
- 第5回 日本の音楽祭1：大阪国際フェスティバル
- 第6回 日本の音楽祭2：町おこしと音楽イベント
- 第7回 エンターテインメント化する日本の古典芸能1：能
- 第8回 エンターテインメント化する日本の古典芸能2：歌舞伎
- 第9回 歌詞と旋律1：讃美歌
- 第10回 歌詞と旋律2：「第九」とヨーロッパ
- 第11回 歌詞と旋律3：「第九」と日本人
- 第12回 世界の《ふるさと》：うたの力は存在するか？
- 第13回 「音楽療法」は「音楽」で「癒す」のか？
- 第14回 ディスカッション：現代社会のエンターテインメントと音楽
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

課題提出(60%) 期末レポート(40%)
毎回の課題を必ず提出すること(それが平常点を兼ねている)。授業時に適宜プリントを配布する。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

授業時に指示する参考図書などによる、次回授業テーマに関する基礎知識の事前学習。日ごろから、身近なところで行われている音楽活動について関心を持ち、気になるものについては実際に足を運ぶなど、常に情報を集めておくこと。指示されたレポート課題の提出。レポートのテーマや字数制限など詳細については、授業内で指示する。

履修上のアドバイス及び留意点

ただ単に音楽を聞き流す生活から、音楽をきっかけに広い世界への扉を開けることができるようになれば、人生が確実に変わります。しかしそのためには、実はそれなりの知識やテクニックが必要です。この授業で音楽を自分なりに楽しんだり、深く聴いたりする方法を実践的に学び、さらにそれを他者に伝える方法を学ぶことで、音楽を生涯の友として慰めや励ましを汲み取る力を獲得することができます。

「ただ生きるだけでなく、よりよく生きる」ことの重要性が叫ばれるように、音楽も「ただ聞くだけでなく、よりよく聴く」ことが大切です。なぜなら、それによって人は音楽から様々なものを得、充実した人生を送ることができるようになるからです。期待して受講してほしいと思います。

教材・教科書

山本美紀著『音楽祭の戦後史』白水社

参考書

授業時に適宜紹介する。